

授業科目 臨床栄養学実習 II

【担当教員名】 永井 徹		対象学年	3	対象学科	健康
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 「臨床栄養学実習Ⅰ」に含まれなかった分野および領域について学習する。周術期、要介護者および摂食・嚥下障害疾患などの病態・病期における治療法をよく理解し、複合疾患における栄養治療の意義と実践方法について学ぶ。傷病者の生活背景を考慮した食事計画立案、栄養療法の実践について修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 疾患別（病態・病期）における適切な献立作成ができる。 2. 傷病者の生活背景を考慮した経口・経腸栄養補給法の栄養ケアプランを立案できる。 3. 疾患別食品群荷重平均量を作成して、傷病者に適した食事計画を提案できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	食品構成表の分類と作成			1	講義と献立作成
2	透析患者に対する栄養管理計画			1～3	講義および栄養管理計画立案
3	透析患者に対する栄養管理			1～3	実習
4	周術期における栄養管理計画 1（経口）			1～3	講義および栄養管理計画立案
5	周術期における栄養管理 1（経口）			1～3	実習
6	周術期における栄養管理計画 2（経腸）			1～3	講義および栄養管理計画立案
7	周術期における栄養管理 2（経腸）			1～3	実習
8	要介護者における栄養管理計画 1（脳血管疾患）			1～3	講義および栄養管理計画立案
9	要介護者における栄養管理 1			1～3	実習
10	要介護者における栄養管理計画 2（発達障害）			1～3	講義および栄養管理計画立案
11	要介護者における栄養管理 2			1～3	実習
12	褥瘡患者に対する栄養管理計画			1～3	講義および栄養管理計画立案
13	褥瘡患者に対する栄養管理			1～3	実習
14	障害者に対する在宅栄養管理計画			1～3	講義および栄養管理計画立案
15	まとめ			1～3	疾患の栄養治療
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		臨床栄養学実習書第11版		玉川和子 他	医歯薬出版 2013・2,700円＋税
		糖尿病食事療法のための「食品交換表」第7版		日本糖尿病協会	文光堂 2013・900円＋税
		腎臓病の食品交換表		黒川清 他	医歯薬出版 2008・1,300円＋税
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席およびレポートによる評価			【履修上の留意点】		